



AKITA BANK

# REPORT 2024

秋田銀行ミニディスクロージャー誌

---

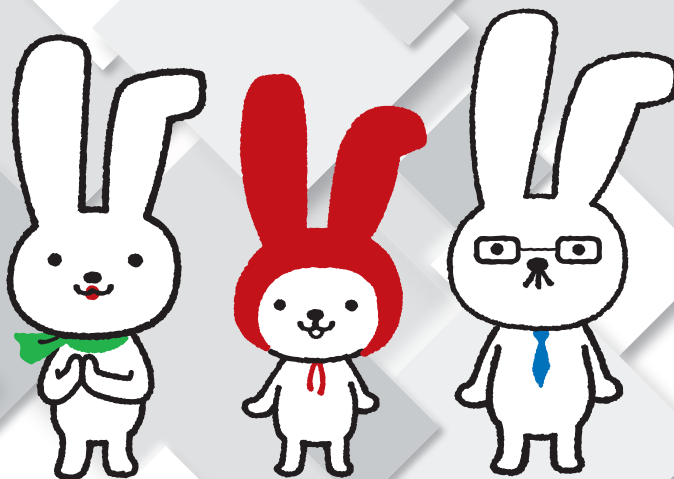
2024年9月期

---

営業のご報告

---

2024年4月1日から  
2024年9月30日まで





経営理念

地域共栄

地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える

行訓

- 1. 自らにきびしく 他には思いやりの深い  
すぐれた人間をつくること
- 2. 内に和を守り 外に信用を固めて  
明るく健全な職場をつくること
- 3. 常に将来のことを考え  
絶えず現状の改善を図って  
ともに繁栄する地域社会をつくること

(1969年制定)

<あきぎん>の概要

(2024年9月30日現在)

|                    |                                   |
|--------------------|-----------------------------------|
| 名称                 | 株式会社 秋田銀行<br>The Akita Bank, Ltd. |
| 本店所在地              | 秋田県秋田市山王三丁目2番1号                   |
| 創業                 | 明治12年(1879年)1月                    |
| 預金・譲渡性預金           | 3兆1,956億円                         |
| 貸出金                | 1兆9,833億円                         |
| 資本金                | 141億円                             |
| 発行済株式数             | 18,093千株                          |
| 自己資本比率             | 11.38%(国内基準)                      |
| 長期格付               | A+(JCR)                           |
| 従業員数               | 1,249名                            |
| 店舗数                | 本支店・出張所98か店                       |
| 現金自動設備<br>(CD・ATM) | 226か所<br>(店舗内74、店舗外出張所152)        |
| 上場証券取引所            | 東京証券取引所(証券コード8343)                |

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当行に対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌 AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。本誌では、2024年9月期の業績、当行の経営方針、地域やお客さま向けの取組みなどについてご紹介しております。ご覧のうえ、ご参考にいただければ幸いに存じます。

当行グループでは、2030年を展望する秋田銀行グループVISION『価値をつくる。未来へつなぐ。』を定め、VISION達成に向けた第1フェーズとして2022年4月から3年間の中期経営計画を推進してきており、2024年度はその最終年度にあたります。これまで2年半余りにわたり、3年戦略の「基盤強化戦略」、2030年を展望する長期戦略の「地域価値共創戦略」および「組織・人財戦略」の3つの基本戦略に基づき、諸施策を着実に進めてきております。

足もとの取組みの一例をご紹介しますと、2024年7月、全国に先駆けて開発プロジェクトが進行する秋田県沖の洋上風力発電事業への組織対応力、主体的な関与を強化するため、本部内へ「洋上風力産業支援室」を設置いたしました。脱炭素社会への移行という大きな潮流のなかで、日本海の恵まれた風況を背景とする秋田県沖の洋上風力発電事業は、建設工事等の事業開発フェーズにとどまらず、運転開始後の管理・メンテナンスなども含めて、地域経済への波及効果が強く期待される分野です。当行グループでは今後「洋上風力産業支援室」が中心となり、関連事業への地域企業の参入を後押ししていくほか、事業に付随する産業への資金支援、地域貢献施策の促進など、洋上風力発電事業と地域をつなぐ「ハブ」としての機能を主体的に担い、地域の新たな産業としての発展を促進してまいります。

第1フェーズの計画期間は残りわずかとなりましたが、引き続き計画に基づき施策をしっかりと実行し、地域やお客さまにとっての価値創造を推進してまいるとともに、当行グループの企業価値向上へ取り組んでまいります。お客さま、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの皆さまには、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役頭取

芦田 晃輔



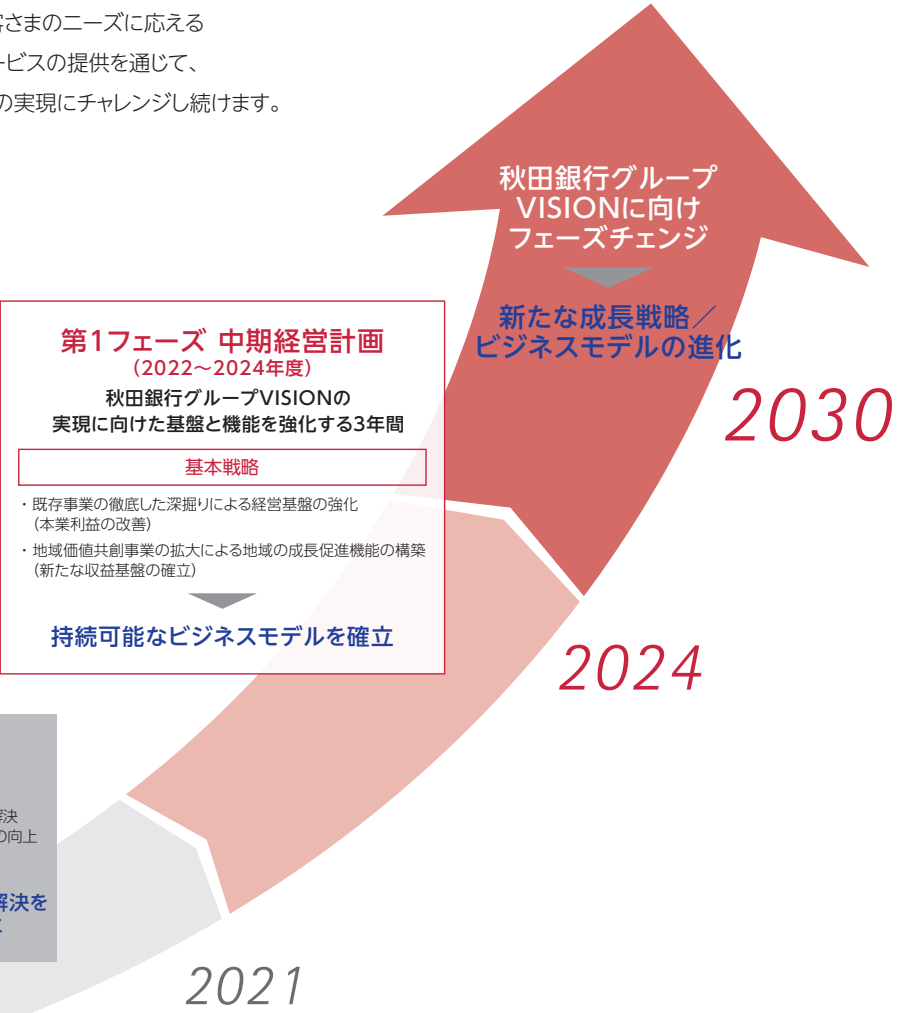
|          |                         |       |               |    |             |       |
|----------|-------------------------|-------|---------------|----|-------------|-------|
| Contents | <あきぎん>の概要               | 01    | 基盤強化戦略        | 05 | 財務ハイライト     | 09-12 |
|          | トップメッセージ                | 02    | 地域価値共創戦略      | 06 | 株式インフォメーション | 13    |
|          | 秋田銀行グループVISIONの<br>目指す姿 | 03-04 | 組織・人財戦略       | 07 | 店舗ネットワーク    | 14    |
|          |                         |       | サステナビリティへの取組み | 08 |             |       |

2030年を展望する秋田銀行グループVISION

価値をつくる。未来へつなぐ。

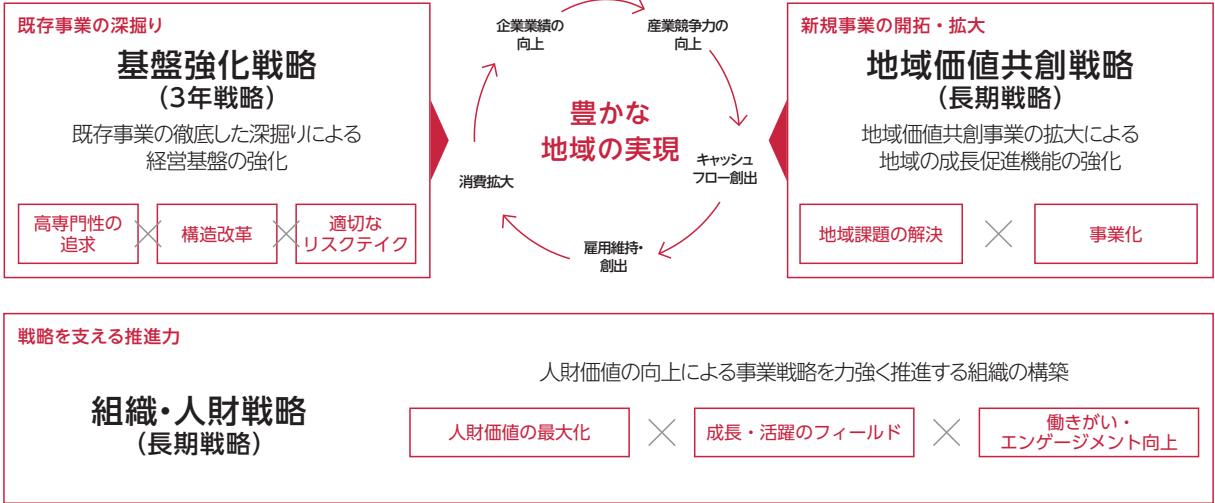
地域の課題を解決し、お客さまのニーズに応える  
質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、  
将来にわたる豊かな地域の実現にチャレンジし続けます。

▶ 中期経営計画



第1フェーズ中期経営計画(2022～2024年度)

▶ 基本戦略



▶ 計画最終年度(2024年度)に目標とする経営指標と実績(単体)

| 中期経営計画期間で目標とする経営指標<br>(2024年度、単体) |        | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 当期純利益                             | 50億円以上 | 33億円   | 45億円   | +12億円  |
| OHR(コア業務粗利益ベース)                   | 70%未満  | 68.67% | 74.96% | +6.29P |
| 自己資本比率                            | 10%以上  | 11.18% | 11.21% | +0.03P |
| お客さまサービス等利益(本業利益)                 | 黒字化    | ▲10億円  | ▲3億円   | +7億円   |



## 付加価値の高い営業活動の拡大に向けた組織体制の改正

お客さまのニーズや課題を起点とした付加価値の高い営業活動を拡大するため、従来は「窓口・融資・渉外」という業務別に配置していた人員を、「法人・個人」別に配置する体制へ組織改正しています。

加えて、2024年6月には、札幌支店、郡山支店内にそれぞれ法人営業部を新設し、営業体制の強化を通じて提案力や専門性の向上をはかり、コンサルティング営業を一層推進しています。



## お客さまの経営課題解決に向けたデジタルツールの導入

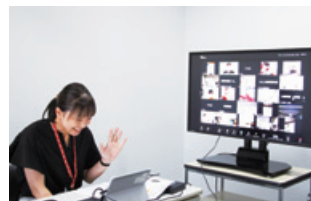
2024年6月、お客さまが抱える様々な経営課題を的確に把握・整理し、最適なソリューションを提供できる課題解決型のプラットフォーム「ビジクル®」を導入しました。本サービスに搭載されている400以上のソリューションを活用し、お客さまのニーズや経営課題に合わせた付加価値の高いサービスを提供しています。



経営課題を解決する提案クラウド「ビジクル®」

## コンサルティング力向上に向けた職員のスキルアップ

本部から営業店職員向けに最新のマーケット動向や制度改正への対応などの情報を発信する「投資Lab “10分チャンネル”」を実施しています。2022年度から継続して取り組んでおり、2024年9月末までに累計47回実施し、延べ3,000人以上が参加しています。当行では、引き続き職員のスキルアップに取り組み、コンサルティングの質の向上をはかってまいります。



投資Lab “10分チャンネル”

## お客さまに対する情報提供機会の拡大

当行では、お客さまの豊かな生活の実現をサポートするため、資産形成や運用に関するセミナーなどの情報提供機会の拡充をはかっています。2024年度はオンラインも含めセミナーを毎月開催しており、6月にはコモンズ投信株式会社の代表取締役社長兼最高運用責任者である伊井 哲朗氏を講師に招いたセミナーを実施しています。



伊井 哲朗氏を講師に招いて開催した資産運用セミナー

## 洋上風力発電関連産業への地域企業の参入支援

日本海の恵まれた風況を背景に、秋田県沖では全国に先駆けて洋上風力発電の事業開発が進んでいます。当行では、洋上風力発電施設の建設工事や管理・メンテナンスなど、事業に付随する様々な関連産業への地域企業の参入をサポートし、地域経済への波及効果の最大化をはかるため、2024年7月に「洋上風力産業支援室」を新設し、地域の新たな産業としての成長支援を推進しています。



当行が資金支援し、整備された男鹿市船川港の大型船舶の船底洗浄・塗装拠点（本拠点の整備により、これまで他県に流出していた大型船舶整備需要を県内に取り込むことが期待されています。）

## 地域産業の持続的発展に向けて

2023年7月に設立した投資専門子会社「株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ」は、総額10億円の「あきぎんNEXTファンド」を組成し、2024年9月末までに6件の投資を実行しています。引き続き本ファンドを通じて、地域課題の解決に挑戦する企業や事業承継に課題を抱える企業に対して柔軟な資金供給や経営支援を行うことで、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。



## 秋田県産品の流通拡大への取組み

当行グループの地域商社「詩の国秋田株式会社」では、秋田県産品の販路拡大やプロモーション強化などを通じて地域のブランド価値向上をはかっています。当行や詩の国秋田が拠点を置く首都圏や台湾への販路拡大に加え、2024年10月には香港に向けた秋田県産鶏卵の輸出を手がけるなど、新たな商流の開発に取り組んでいます。



鶏卵の輸出作業

## 企業が抱える人材に関する課題への対応

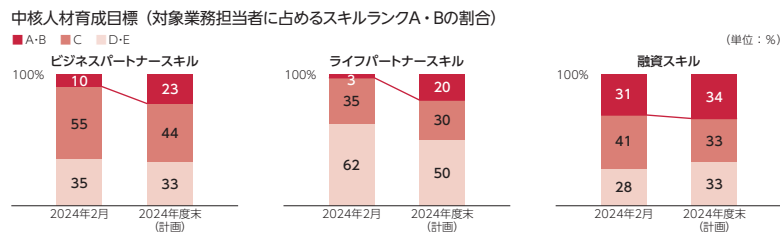
当行では、企業が抱える人材に関する課題に幅広く対応することを目指し、従来から注力してきた人材採用ニーズへの対応に加え、企業の人材育成をサポートするため、2024年4月から「社員研修サービス」を提供しています。当行職員が講師となり、対象企業それぞれの課題やニーズに応じた研修を行っており、9月末までに延べ19件、857名に対し研修を行っています。



当行職員が講師を務める社員研修サービス

## スキルマップ制度を活用した人材育成と戦略配置

職員一人ひとりのスキルを可視化し、伸ばすべきスキルを特定するスキルマップ制度を導入し、成長への自律的な取組みを促進しています。経営戦略の実現に必要な業務分野のスキルについて5段階のスキルランクで評価する制度であり、そのうち上位2段階のスキルをもつ人材を業務分野の中核を担う人材（中核人材）と定義しています。中核人材を戦略的に配置できる体制を構築するため、計画的な人材育成を進めています。



## DX/IT人材の採用

データやデジタル技術を活用し、地域やお客さまに新たな体験やサービスを提供していくことを目指し、DXへの取組みを進めています。DX戦略の推進力となる専門人材を育成するため、2024年度の新卒採用より「DX/IT人材コース」を新設し、3名を採用しました。同コースの職員は、入行時からDX戦略関連部署に配属され、専門的なスキルや知識を習得しています。



DX/IT人材コースの3名

## DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）への取組み

公平な活躍の機会のもと、職員一人ひとりが自分らしい働き方やキャリアを実現し、成長・活躍し続けられる組織を目指し、DE&Iへの取組みを進めています。

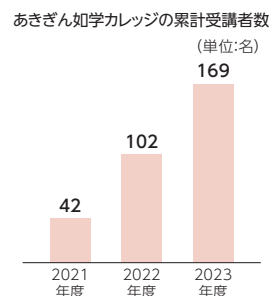
なかでも、女性職員の活躍を後押しする取組みとして、若手女性職員同士の意見交換やコミュニケーションの機会を創出するワークショップ「Chatomo（チャットモ）」を2023年度から継続的に開催しているほか、女性役席者を対象にマネジメントやリーダーシップへの理解を深めキャリア形成への意識向上をはかる「女性キャリアマネジメント研修会」を開催しています。



ワークショップ「Chatomo（チャットモ）」

## 地域やお客さまの課題を解決する人材の育成

多様化するお客さまのニーズに対応し、課題を解決できる人材の育成に向けて、行内外の研修の拡充やオンライン学習ツールの導入、企業内大学の運営などに取り組んでいます。企業内大学「あきぎん如学カレッジ」では、通常の業務や研修では触れることの少ない高度で専門的な知識の習得を促進しており、2024年度は新たに「課題解決力養成ゼミ」を新設し、計36名が学んでいます。



## 本店・事務センターの再生可能エネルギー電化

2024年4月より、秋田県と東北電力が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」へ加入し、本店と事務センターの2施設において、秋田県で発電されたCO<sub>2</sub>を排出しない電気を使用しています。



## 田沢湖支店のカーボンフリー店舗化

田沢湖支店は、2024年4月に秋田県産材を活用した木造店舗として新築移転しました。使用する電力のすべてを地元生保内発電所（水力）でつくられた電気で購入することにより、カーボンフリーを実現しています。



田沢湖支店の外観、内観

## 地域の脱炭素化に向けた取組み

大潟村は国に採択された脱炭素先行地域であり、村内では地域エネルギー会社である株式会社オーリスによるもみ殻バイオマス熱供給事業の準備が進められています。本事業は、未利用の資源であった稲作によって排出されるもみ殻を活用して村内施設に熱供給を行い脱炭素化をはかるほか、燃烧後のもみ殻も農業へ活用し、地域資源の域内循環に貢献するものです。

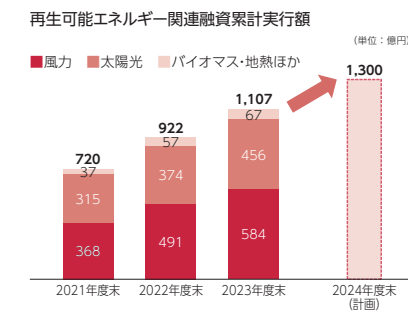
当行は、同社に対し事業費の融資のほか、事業構築、リスク分析ならびに長期資金計画の策定支援等、多岐にわたるサポートを行っています。



大潟村に整備されたもみ殻バイオマス熱供給施設

## 再生可能エネルギー分野への取組み

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、風力や太陽光など地域の豊富なグリーン資源を活用する再生可能エネルギー向け融資に積極的に取り組んでいます。同分野向けの融資は順調に増加しており、2024年度末までに累計1,300億円の実行を目標に取り組んでいます。





財務ハイライト

収益の状況

コア業務純益<sup>(※)</sup>は、貸出金利息、有価証券利息の増加により資金利益が増加し、役務取引等利益も増加したことにより、前年同期比23億円増加の**55億円**となりました。

経常利益は、与信関係費用は増加したものの、コア業務純益の増加に加えて株式等売却益の増加により8億円増加の**41億円**となりました。中間純利益は前年同水準の**24億円**となりました。

用語解説

※「コア業務純益」

銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。

自己資本比率<sup>(※)</sup>の状況

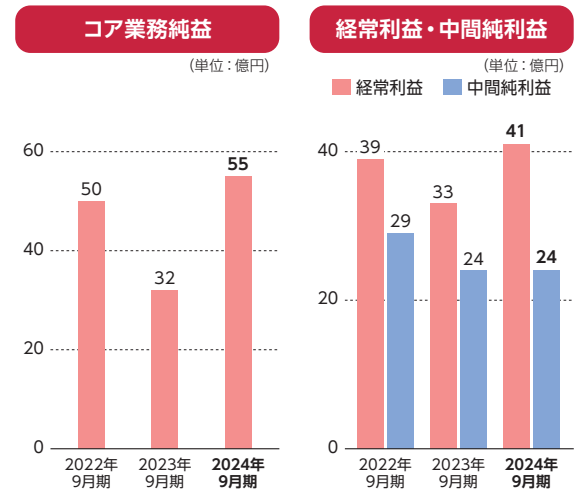
2024年9月末の自己資本比率は、分母であるリスク・アセットが貸出金の増加により増加したものの、分子である自己資本も利益の積上げにより増加しました。これにより、前期末比0.17ポイント上昇し**11.38%**となりました。

引き続き国内基準行に求められる4%を大きく上回る水準を維持しております。

用語解説

※「自己資本比率」

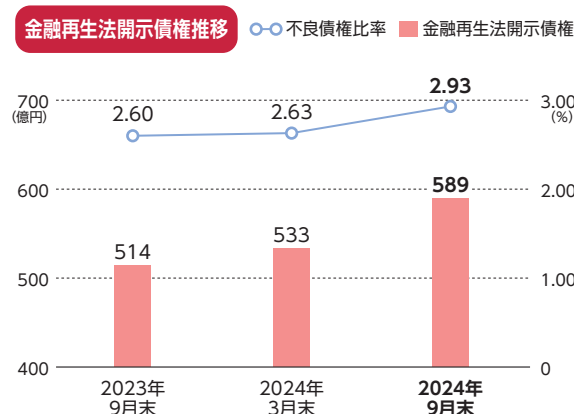
貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。



不良債権の状況

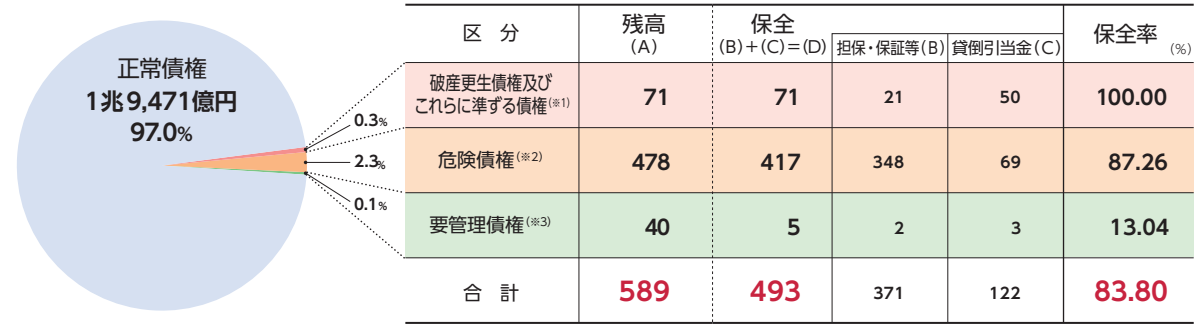
2024年9月末の不良債権(金融再生法開示債権ベース)は、前期末比56億円増加し、**589億円**となりました。

この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保・保証)は493億円、保全率は83.80%と高く、貸出等資産の健全性維持に努めております。



金融再生法開示債権の状況

(2024年9月末現在)



(注) 1 単位未満四捨五入  
2 保全率 = (D) ÷ (A) × 100

用語解説

※1「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

※2「危険債権」

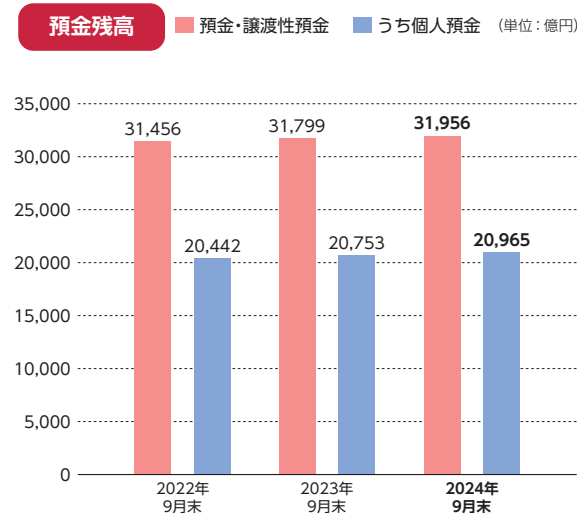
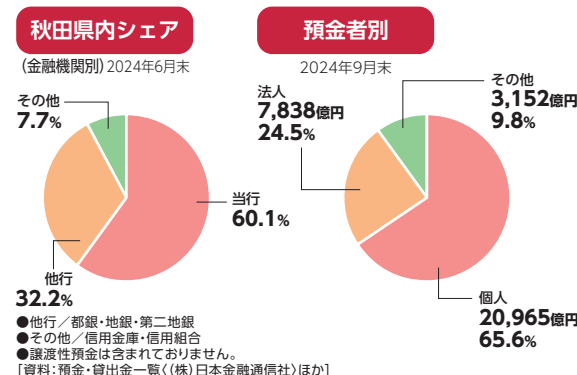
お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

※3「要管理債権」

三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

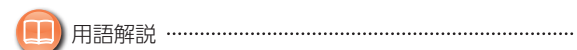
## 預金の状況

個人預金および公金が増加したことにより、前年同期末比157億円増加し、**3兆1,956億円**となりました。

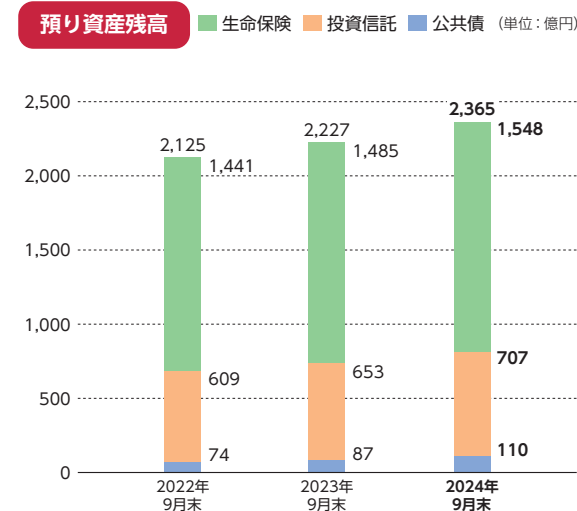


## 預り資産<sup>(※)</sup>の状況

預り資産は、前年同期末比138億円増加し、**2,365億円**となりました。

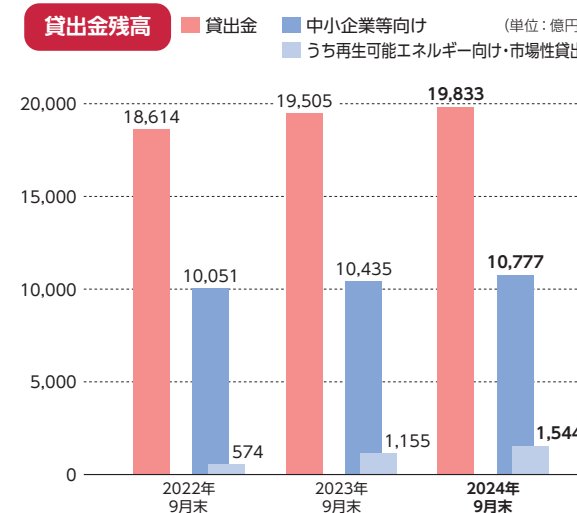
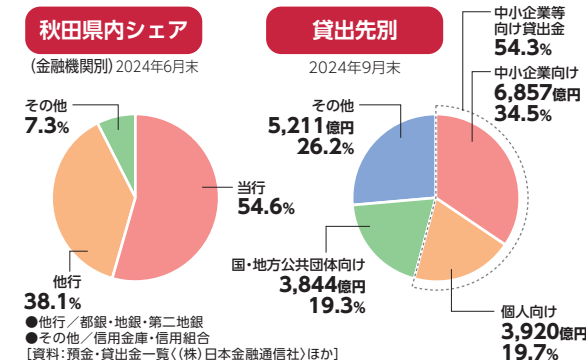


※「**預り資産**」  
公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼んでおります。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。



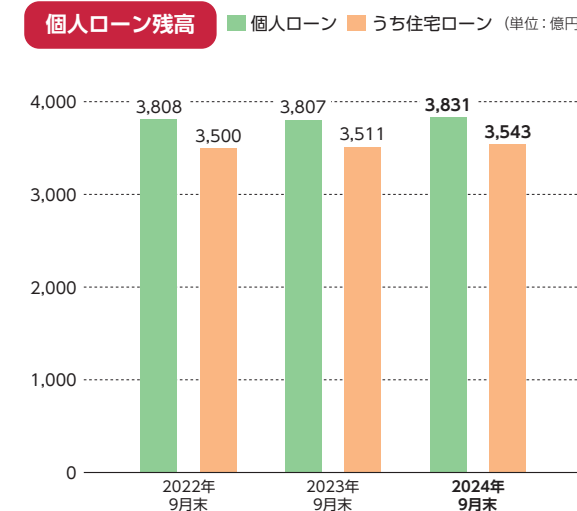
## 貸出金の状況

事業先向け貸出が増加したことにより、前年同期末比328億円増加し、**1兆9,833億円**となりました。



## 個人ローンの状況

個人ローンは、住宅ローンが増加したことにより、前年同期末比24億円増加し、**3,831億円**となりました。



株式インフォメーション

株式の状況

2024年9月30日現在

●株式数・株主数

●発行可能株式総数 68,745千株

●発行済株式数 18,093千株

●株式の分布状況[所有者別]

個人 5,939千株 32.8%

金融機関 6,650千株 36.7%

その他 1,535千株 8.4%

●大株主

●その他法人(証券含) 3,968千株 21.9%

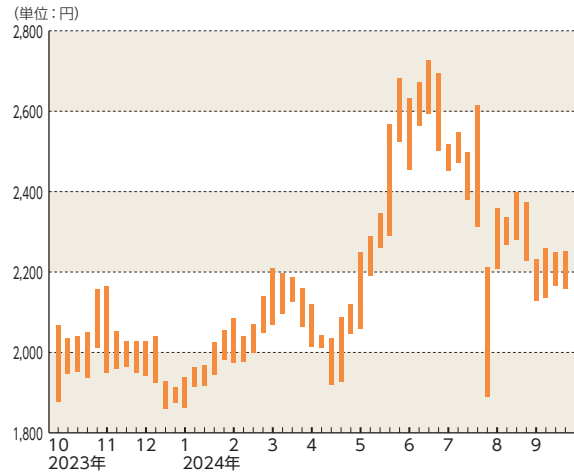
| 株主名                         | 持株数        | 持株比率   |
|-----------------------------|------------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)     | 1,746,300株 | 9.73 % |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)          | 1,070,900  | 5.96   |
| 明治安田生命保険相互会社                | 804,600    | 4.48   |
| 秋田銀行職員持株会                   | 768,212    | 4.28   |
| 日本生命保険相互会社                  | 437,594    | 2.43   |
| 住友生命保険相互会社                  | 344,700    | 1.92   |
| 損害保険ジャパン株式会社                | 326,200    | 1.81   |
| JP MORGAN CHASE BANK 385781 | 212,549    | 1.18   |
| 三井住友海上火災保険株式会社              | 211,500    | 1.17   |
| 双葉不動産建設株式会社                 | 210,000    | 1.17   |

(注) 1. 持株数等は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は自己株式(146,139株)を控除して算出しており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株価の推移

週単位での値幅



株式のご案内

2024年9月30日現在

- 事業年度  
毎年4月1日～3月31日
- 定時株主総会  
毎年6月に開催いたします。
- 剰余金の配当の基準日  
期末配当の基準日は3月31日、中間配当の基準日は9月30日といたします。
- 基準日  
定時株主総会については毎年3月31日を基準日といたします。その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
- 単元株式数  
100株
- 公告方法  
電子公告とします。  
(掲載アドレス <https://www.akita-bank.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所  
東京証券取引所プライム市場
- 株主名簿管理人  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
【同連絡先】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
Tel. 0120-232-711 (通話料無料、平日9時～17時)
- 特別口座の口座管理機関  
日本証券代行株式会社(合併により2025年1月1日から三井住友信託銀行株式会社に変更となります。)  
【同連絡先】  
日本証券代行株式会社 代理人部  
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
Tel. 0120-707-843 (通話料無料、平日9時～17時)  
三井住友信託銀行株式会社(お取扱いは2025年1月6日からとなります。)  
【同連絡先】  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
Tel. 0120-707-843 (通話料無料、平日9時～17時)

(ご注意)  
1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、日本証券代行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお手続きできませんので、ご注意ください。  
3. 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

店舗ネットワーク

秋田県内外、首都圏(東京ビジネスサポートセンター)および台北(台北駐在員事務所)をつなぐ当行ネットワークにより、お客さまの新たなビジネス機会の創出をサポートします。

東京ビジネスサポートセンター

台北駐在員事務所

秋田県外

旭川

札幌・宮の沢

法人営業部

秋田県内

青森

弘前

八戸

盛岡

仙台東中央

仙台

仙台南

福島

郡山・郡山北

郡山南

法人営業部

いわき

新潟

東京

秋田市内

26か店

八森

能代

能代南

二ツ井

大館

大館駅前

大館西・田代

小坂

毛馬内・大湯

花輪

比内

鹿渡

大湯

船越

五城目

大久保

湯分

男鹿・北浦(出)

天王

田沢湖

角館

長野

刈和野・協和

大曲・角間川

大曲駅前・神宮寺

美郷

横手・浅舞

横手条里

本荘・岩城町

本荘東

矢島

家瀬・金浦・仁賀保

十文字・増田

湯沢・西馬音内・稲川

店舗数 77か店

(2024年9月30日現在)

秋田県 …… 62か店

秋田県外 …… 15か店

北海道 …… 2か店

青森県 …… 3か店

岩手県 …… 1か店

宮城県 …… 3か店

福島県 …… 4か店

新潟県 …… 1か店

東京都 …… 1か店

※上記の店舗数は、インターネット支店およびランチインランチ方式(1つの店舗で複数の支店が営業を行う方式)による店舗を除いて表示しています。

法人営業部設置店

札幌支店、郡山支店

<あきぎん>ローンプラザ/保険プラザ

秋田県内のローンプラザ/保険プラザ7か所で各種ローン・保険のご相談を承っています。

●本店(本店営業部1階)

●東中央(秋田東中央支店内)

●能代(能代南支店内)

●大館(大館西支店内)

●大曲(大曲支店内)

●横手(横手条里支店内)

●本荘(本荘東支店内)

※本店ローンプラザ/保険プラザ内に「家づくり相談プラザ」を併設しています。



# 2024

AKITA BANK  
REPORT



2024年11月発行／株式会社秋田銀行経営企画部広報室  
〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号 TEL018-863-1212

(e-mail) [koho@akita-bank.co.jp](mailto:koho@akita-bank.co.jp)

(URL) <https://www.akita-bank.co.jp/>

秋田銀行 公式SNS

LINE



Facebook

